

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

保険を通じて、“ひとり”から、世の中のしあわせをつくる。
ていねいに向き合い、大胆に変えるグループへ。



株主通信

2022年度 中間報告書

2022年4月1日から2022年9月30日まで

株式会社 T&Dホールディングス

証券コード: 8795

Contents

ページ

- 1 トップメッセージ
- 3 グループ長期ビジョン
- 5 SDGs経営と価値創造
- 6 T&D保険グループの人的資本
- 7 グループトピックス
- 9 グループ各社の取組み
- 12 業績ハイライト

トップメッセージ



株主のみなさまにおかれましては、
日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに「2022年度 中間報告書(株主通信)」を
お届けしますので、ご高覧くださいませよう
お願い申し上げます。

2022年12月

株式会社T&Dホールディングス
代表取締役社長

上原弘久

Q 1 グループ長期ビジョンの1年目の評価について

コロナ禍をはじめとする不確実性の高い事業環境
下においても安定的・持続的な成長を実現するべ
く、2021年度よりグループ長期ビジョン「Try & Discover
2025」の実現に取り組んでおります。

その1年目となる昨年度は、生命保険会社3社の業績が堅
調に推移したことに加え、クローズドブック事業への投資を行

うT&Dユナイテッドキャピタルが増益となるなど、着実な一歩
を踏み出すことができました。

この一歩をさらなる飛躍につなげるため、今後もグループ
長期ビジョンに沿った利益拡大による資本効率の向上を推進
してまいります。

Q 2 2022年度中間期の業績について

2022年度中間期の業績では、生命保険会社3社の
主力商品の販売好調により、グループ合算の新契約
年換算保険料は781億円(前年同期比+27.5%)となりまし
た。また、株主還元対象利益となるグループ修正利益は、海
外再保険関連会社(フォーティテュード社)の業績が堅調だっ

たことにより、654億円(同+17.4%)となりました。

この先も経済や金融市場など当社グループを取り巻く環境
は大きく変化していくことが想定されますが、引き続き経営の
健全性を維持しつつ、安定的・持続的な企業価値の増大を図っ
てまいります。

Q 3 株主還元方針について

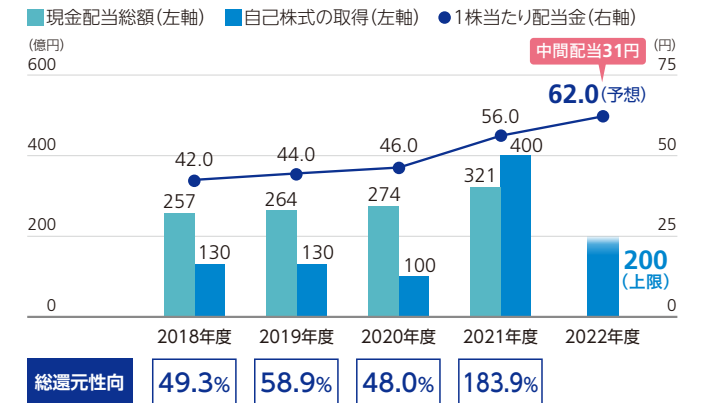
当社およびグループ会社の経営の健全性維持に留意
し、グループとして必要な内部留保を確保したうえで
株主価値の向上に取り組み、安定的な利益配分を実施していく
ことを基本方針としています。

2022年度の間配当は1株につき31円、期末配当を含む
2022年度の年間配当予想は2021年度より6円増配となる
1株につき62円となります。

また、2022年11月より取得価額上限200億円の自己株式取
得を行っております(取得期間:2022年11月~2023年3月)。

今後も収支の状況や自己資本の状況を踏まえ、引き続き株
主還元の充実に努めていきたいと考えております。

株主還元実績



グループ長期ビジョン「Try & Discover 2025」

～すべてのステークホルダーのしあわせのために～

グループ経営理念

Try & Discover(挑戦と発見)による価値の創造を通じて、人と社会に貢献するグループを目指します。

グループ経営ビジョン

保険を通じて、“ひとり”から、世の中のしあわせをつくる。ていねいに向き合い、大胆に変えるグループへ。

FY2024 Plan

FY2023 Plan

FY2022 Plan

グループKPI

財務KPI

経済的価値

資本効率の向上によるグループ収益の拡大

非財務KPI

社会的価値

事業を通じた社会課題の解決

グループ成長戦略

重点テーマ I

コアビジネスの強化

重点テーマ II

事業ポートフォリオの多様化・最適化

重点テーマ III

ERMの高度化(資本マネジメントの進化)

重点テーマ IV

グループ一体経営の推進

重点テーマ V

SDGs経営と価値創造 ▶P.5

グループ長期ビジョン (2025年のありたい姿)

グループKPI

2021年度は、資本効率の向上とリスク削減を図ることを目的に太陽生命の個人年金保険の再保険取引を実施し、一時的な損失を計上いたしました。

これにより、グループ修正利益は前年度に比べて減益となりましたが、この影響を除けば1,160億円と前年度比で大幅な増益となる等、グループKPIは順調に進捗しました。

引き続き、グループ長期ビジョンで掲げる2025年度目標の達成を目指してまいります。

財務KPI	2020年度実績	2021年度実績	2025年度目標 (2021年5月公表)
経済的価値 資本効率の向上によるグループ収益の拡大			
グループ修正利益※1	779億円	392億円 (1,160億円)※2	1,300億円
修正ROE	5.8%	2.7% (7.8%)※2	8.0%
新契約価値	1,434億円	1,669億円	2,000億円
ROEV	25.4%	7.0%	7.5%

※1 グループ修正利益=当期純利益±資産・負債の会計処理のアンマッチ等による評価性損益+負債性内部留保の超過繰入額。

※2 図表の括弧内の数値は、太陽生命の既契約ブロック出再(2022年3月31日付ニュースリリース)に係る影響を除いたもの。

非財務KPI	分野	評価項目	目標水準	2021年度実績
社会的価値 事業を通じた社会課題の解決	お客さま	お客さま満足度	2020年度水準 (相対評価として現行水準からの改善を目標に設定)	目標水準以上達成
	従業員	従業員満足度	2020年度水準 (相対評価として現行水準からの改善を目標に設定)	目標水準以上達成
	社会	CO ₂ 排出量	2025年までに2013年度比40%削減 (生命保険協会の目標を5年前倒しで設定)	2013年度比31.0%削減

SDGs経営と価値創造

T&D保険グループは、「Try & Discover (挑戦と発見)による価値の創造を通じて、人と社会に貢献するグループを目指す」ことをグループの経営理念としています。幅広い分野の課題の取組みを通じて持続可能な世界を実現しようとする世界共通の目標であるSDGsと、当社グループが経営理念に基づき目指すところは同じです。

当社グループは、サステナビリティ重点テーマの選定プロセスのなかにSDGsへの貢献を組み入れ、事業の特徴や強みを活かしたグループサステナビリティの取組みを通じて、SDGs達成への貢献を推進してまいります。



共有価値の創造

非財務KPIの達成

サステナビリティ重点テーマ

T&D保険グループは、事業活動に関わる様々なサステナビリティの分野から、社会にとっての重要度が高く、当社グループの事業との関連が大きい重要な社会課題を「SDGsの17の目標と169のターゲット」から抽出し、重点的に取り組む4つのサステナビリティ重点テーマを、以下のとおり定めております。グループ長期ビジョン「Try & Discover 2025」においても、テーマごとに事業を通じた取組みを進めております。

重点テーマ1: すべての人の健康で豊かな暮らしの実現

お客様のニーズにあった最適で質の高い商品・サービスを提供することにより、保険事業を通じて社会の持続的成長と、社会課題の解決に貢献します。

重点テーマ3: 気候変動の緩和と適応への貢献

お客様に保険商品・サービスを提供する自らの事業活動を通じて、気候変動の緩和と適応に貢献し、ネットゼロ社会の達成、生物多様性の保全にも取り組みます。

重点テーマ2: すべての人が活躍できる働く場づくり

すべての人の人権を尊重するとともに、従業員の人格と多様性を尊重し、健康で安全に働ける環境を確保することにより、人材育成を図ります。

重点テーマ4: 投資を通じた持続可能な社会への貢献

責任ある機関投資家として、環境・社会・企業統治に配慮した投資を行うことで、長期安定的な収益の確保と持続可能な社会の実現に貢献し、社会とともに持続的に成長することを目指します。



サステナビリティの取組み等の詳細は、左記QRコードから「サステナビリティレポート2022」をご覧ください。

T&D保険グループの人的資本

当社グループが持続的に価値を創造していくためには、従業員が最も大切であり、最大の原動力です。この度、活躍するグループ社員が集まり、グループ経営ビジョンの実践について、また、人材育成制度の活用についての座談会を実施いたしました。

生保3社営業座談会



太陽生命
平塚支社
達川 美代子

大同生命
税理士推進新宿支社
西田 緑

T&D
フィナンシャル生命
東日本第一営業部
花島 勇飛

グループのコアビジネスである国内生命保険の営業で活躍している太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命の各社社員に、自社の強み、コロナ禍でのお客さまとの接し方や自身の働き方の変化、今後の課題等について、現場でのリアルな体験を交えて語っていただきました。またあわせて、自身のやりがいや、生命保険事業の深化にとって必要なこと、グループ経営ビジョン「保険を通じて、“ひとり”から、世の中のしあわせをつくる。」の実現にむけて各人が実践していることについて話を聞きました。



生保3社営業座談会の詳細は、左記QRコードから「統合報告書2022」のP32-35をご覧ください。

従業員座談会: 人材育成制度の活用と企業価値向上



● 中山 裕夢
T&Dホールディングス
事業推進部
(T&Dユナイテッドキャピタル)
2017年入社

● 小川 諒
太陽生命
営業部営業教育課
2015年入社

● 大木 唯
大同生命
人財開発部人財研修課
2013年入社

● 立花 憲一
T&Dフィナンシャル生命
商品部商品企画課
2018年10月入社
(中途入社)

T&D保険グループでは「多様な人材が働きがいを感じながら能力発揮できる企業風土づくり」を推進するため、様々なスキルアップの機会を用意し、個人で目指すキャリアアップができる環境を提供しています。今回の座談会では、T&Dホールディングス、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命の各社従業員

それぞれが、どのような人材育成制度を利用しているか、学んだことをどのように業務に活かしているか、今後はどのようなキャリアアップを考えているか、当社グループの持続的成長にとって他に必要な制度は何か、等について語り合いました。



従業員座談会の詳細は、左記QRコードから「統合報告書2022」のP56-59をご覧ください。

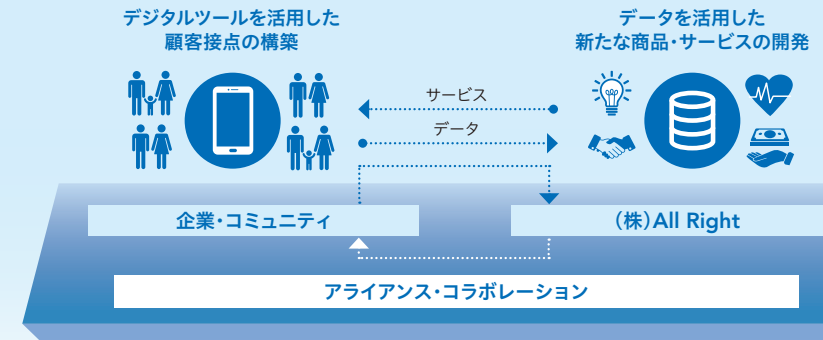
グループトピックス (各社の取組み、表彰)

2月	<ul style="list-style-type: none"> 太陽生命少子高齢社会研究所、味の素(株)と血液中アミノ酸プロファイル等を活用したがん・生活習慣病予防に関する共同研究を開始 大同生命、HDI-Japan「クオリティ格付け」において、コールセンター等の窓口で国内初2年連続満点での最高評価「三ツ星」獲得 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> T&Dユナイテッドキャピタル、米国再保険持株会社フォーティテュード社への追加出資を決定 太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命、「健康経営優良法人(ホワイト500)」に認定 大同生命、中小企業とともに社会的課題の解決に取り組むためのWebサービス「どうだい?」の提供を開始 	
4月	<ul style="list-style-type: none"> 当社、国際的なイニシアティブ「RE100」へ加盟、また当社グループ、投融資先のCO₂排出量削減に向けた中間目標を新設 太陽生命、軽度認知障害(MCI)のリスクをより高精度に判定する「MCIスクリーニング検査プラス」を提供開始 「JLPGA レジェンズツアー 太陽生命 元気・長生きカップ2022」を開催(女子シニアゴルフへの協賛) 	
5月	<ul style="list-style-type: none"> 「T&D保険グループ サステナビリティステートメント」の制定 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> T&Dフィナンシャル生命の「みんなにやさしい終身保険」の円貨コースが、安心して生前贈与や死亡保障の確保ができる保険へと進化 当社、コーポレート・ベンチャーキャピタルファンドを設立 	
7月	<ul style="list-style-type: none"> 大同生命、「夏のウォーキングキャンペーン」を通じてアジア・アフリカの子どもたちに約26万食分の学校給食をお届け 当社、「Try & Discover フォトコンテスト2022 ～1枚から広がるしあわせを。～」を開催 大同生命、120周年記念事業として、2025大阪・関西万博に向けて商都・大阪の魅力を発信(「加島屋」再現模型を一般公開) 	 <p>大同生命源流「加島屋」再現模型</p>
8月	<ul style="list-style-type: none"> 太陽生命、菅田将暉さん、原田美枝子さんW主演映画『百花』へ協賛 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社All Rightの設立 当社、「東京カメラ部2022写真展～写真との出会いは、世界との出会いだ。～」へ出展 ペット&ファミリー、LINE公式アカウントを開設しご契約者さま向けの機能を充実 大同生命、第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」に特別協賛 「太陽生命クアオルト健康ウォーキングアワード2022」を開催 	 <p>クアオルト健康ウォーキング体験会の様子</p>
10月	<ul style="list-style-type: none"> 「UCDAアワード2022」において、太陽生命が「アナザーボイス賞」、大同生命が「アナザーボイス賞」「特別賞」を受賞 	

グループトピックス (新領域への取組み)

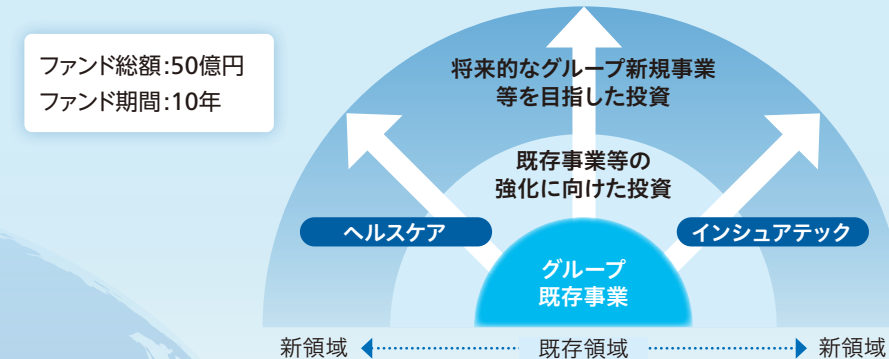
株式会社All Rightの設立

- デジタル顧客基盤の構築に向けて、2022年9月に株式会社All RightをT&Dホールディングスの子会社として新設いたしました。
- 様々な企業と連携することで、新たな顧客接点を構築し、新たな形でお客さまのニーズにお応えする商品・サービスの開発・提供を目指してまいります。



コーポレート・ベンチャーキャピタル(CVC)の設立

- 先進的な技術やビジネスモデルを有するスタートアップ企業との関係構築・事業連携等を目的に、2022年6月にCVCファンドを設立いたしました。
- スタートアップ企業の発展と当社グループの既存事業の強化、新規事業の創出を目指してまいります。



グループ各社の取組み



健康状態に不安のある方にも手厚い保障「告知緩和型死亡保険」「選択緩和型先進医療保険」を新発売!

2022年5月に発売した「告知緩和型死亡保険」は、健康状態に不安のあるお客さまでも簡単な告知により死亡保障を最高4,000万円*1までご準備いただくことができます。

また、「選択緩和型先進医療保険」は、公的医療保険対象外のため、技術料が全額自己負担となる先進医療*2に備えていただける保障となっており、例えばがんの治療に用いられる重粒子線治療のような高額な治療費や実施医療機関までの交通費、宿泊費等の諸費用に備えていただけます。より充実した保障を通じて誰もが安心して元気に長生きできる社会の実現を目指してまいります。

*1 40歳～45歳の方は最高3,000万円、46歳以上の方は最高2,000万円までとなります。
*2 白内障の治療に関する先進医療を除きます。

告知緩和型
死亡保険



テレビCMやインターネット広告等を経由した情報の活用による新たな提案活動を展開!

インターネット完結型保険「スマ保険」等、「非対面」のサービスを充実し、お客さまの多様なニーズに対応しております。

また、「スマ保険」のWebサイトやテレビCM・インターネット広告等を経由した情報を営業職員が活用することで、「対面」「非対面」を融合した保険加入スキームを展開しております。

これにより、すべて「非対面」でお手続きが可能なほか、一部プロセスで「対面」をご希望されるお客さまのご要望にもお応えできるようになっております。



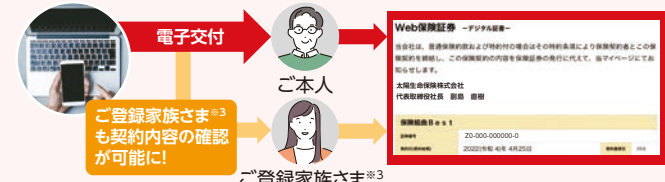
「スマ保険」専用ページはこちらです。
https://www.taiyo-seimei.co.jp/net_lineup/

「太陽生命マイページ」がさらに便利に!～デジタル証書の取扱いを開始～

お客さま専用インターネットサービス「太陽生命マイページ」では、契約内容照会や改姓手続き、入院給付金のご請求手続き等をインターネット上で行うことができます。

2022年4月には、ご契約内容を確認できる新たなサービスとして「Web保険証券」(愛称:「デジタル証書」)の取扱いを開始しました。被保険者さま・ご登録家族さま*3もマイページ会員として登録いただくことで当サービスを利用できるなど、利便性向上に努めております。

今後も引き続き最新のITを活用することにより、お客さまお一人おひとりのニーズにお応えできる「簡単・便利」、「安心・安全」なサービスを展開してまいります。



*3 契約者の配偶者、直系血族または3親等内の親族の方等。



「中小企業の健康経営*1」の実践支援

2017年から健診結果のWeb管理やウェアラブル端末との連携による運動管理、ポイントインセンティブの付与等の「健康経営の実践ノウハウ」を集約したツール「KENCO SUPPORT PROGRAM」を提供し、「中小企業の健康経営」をご支援しております。

創業120周年を迎える2022年度を「健康経営の本格普及元年」と位置づけ、「KENCO SUPPORT PROGRAM」の新機能の提供や、健康経営に関する各種イベント・セミナーの開催、創業120周年記念商品「会社みんなでKENCO+」*2の推進等を通じ、日本を支える中小企業における健康経営の一層の普及に取り組んでおります。

*1 「健康経営」とは、企業が従業員の健康管理を経営的視点から考え、戦略的に従業員の健康管理・健康づくりを実践することです。「健康経営」は、特定非営利法人 健康経営研究会の登録商標です。



*2 正式名称は「無配当年満期重度就業不能保障定期保険(無解約払戻金型)」と「無配当歳満期重度就業不能保障定期保険(解約払戻金抑制割合指定型)」です。

社長が声をかけあうサイト「どうだい?」の提供

中小企業経営者が集い、ともに社会的課題の解決に取り組んでいくためのWebサービス「どうだい?」を2022年3月に開始いたしました。

本サービスは、創業120周年事業の一環として、これまで保障を通じて中小企業をお支えしてきた大同生命が、今後は「中小企業とともに未来を創る」という想いを形にしたものです。

「KENCO SUPPORT PROGRAM」等の中小企業の課題解決に役立つ様々なサービスのほか、各サービスの活用事例やウェビナーといった様々な情報、経営者同士が想いや悩みを

共有する場(コミュニティ)をご提供しております。



T&Dフィナンシャル生命

ゆとりあるセカンドライフのための生活資金の準備や遺族保障等のニーズに応える資産形成型商品、ご加入いただきやすい価格の保障型商品をお届けしております。今後も引き続き、お客さまにご満足いただけるより良い商品・サービスの提供に努めてまいります。

『ハイブリッド つみたて ライフ』を発売

「投資信託」と「生命保険」の融合により、人生100年時代の自助努力による資産形成をサポートする「ハイブリッドシリーズ」の第3弾商品で、2022年4月に販売開始いたしました。

コツコツ積立をしながら将来の臨時収入を活用した「スポット増額」や、定期的に一定額を投資することで効率的な投資が可能な「ドルコスト平均プラス特約」、三大疾病にそなえることができる「資産形成サポート特約」等の機能を備えております。

運用は複数の特別勘定(ファンド)から選択でき、お一人おひとりのニーズに寄り添った新機軸の資産形成型商品となっております。



T&Dアセットマネジメント

T&D保険グループの資産運用会社として、特長のある運用商品やサービスの提供により多様化する資産形成ニーズに応えることで、社会課題の解決に寄与してまいります。

この一環として、2021年3月にホームページをリニューアルし、投資信託の基礎知識や用語集、将来の運用成果を試算するシミュレーション機能等に加えて、資産形成に関するコラム等を追加し、お客さまの長期的な資産形成をサポートするコンテンツを充実させました。

また、2022年4月に、資産運用会社として、より一層社会の持続性に貢献していくとの姿勢を明確に示すため、株式運用部に責任投資推進室を新設いたしました。これにより、ESG投資の高度化を図りつつ、エンゲージメント活動、議決権行使活動を充実させる体制を整備いたしました。

ペット&ファミリー 損害保険株式会社

ペットの長寿化・高齢化やコロナ禍を契機とする生活環境の変化により、ペットが動物病院で治療を受ける機会が増加傾向にあるなか、治療費用の一定割合を補償するペット医療費用保険をご提供しております。2021年12月には、通院時の免責金額を設定することにより保険料水準を低く抑えた新商品『げんきナンバーわんスマート』を販売開始いたしました。また、お客さまサービス向上のため、ご契約者さま専用のマイページ機能を充実させるとともに、2022年9月にはLINE公式アカウントを開設いたしました。今後も、最良の商品・サービスをご提供することで、大切な家族の一員であるペットとともに過ごす充実した生活に安心をお届けしてまいります。



業績ハイライト (主要経営指標)

連結主要収支

2022年5月13日公表の2022年度通期業績予想を次のとおり修正。

(単位: 億円)

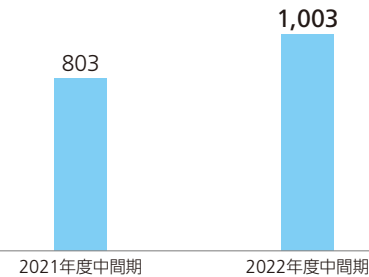
	2022年度通期業績予想(修正)	2022年度中間期	前年同期比
経常収益	23,900 → 27,800	14,968	+35.1%
経常利益(△は損失)	840 → △1,000	△1,149	-
親会社株主に帰属する中間純利益(△は純損失)	170 → △1,600	△1,483	-
グループ修正利益*	1,060 → 900	654	+17.4%

- ・ 経常収益は、主に外貨連動型保険の販売好調による保険料等収入の増加により上方修正いたしました。
- ・ 経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は、主に海外再保険関連会社(フォーティテュード社)における米国金利上昇等に伴う会計上の一時的な評価性損失等の発生により下方修正いたしました。
- ・ グループ修正利益*は、新型コロナウイルス関連の支払増加および下期以降の為替ヘッジコストのさらなる増加等を勘案し下方修正いたしました。

* 当期純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を一部調整した経営実態を表す指標の一つ。

新契約価値 1,003億円

(単位: 億円)

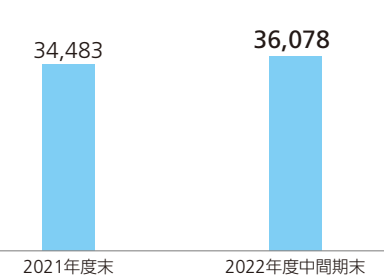


新契約価値は、当期中に販売した新契約の価値を表したものです。中間期は1,003億円となりました。

Group MCEV 3兆6,078億円

(フォーティテュード社に係る評価性損益等を除く)

(単位: 億円)



EV(エンベディッド・バリュー)とは、生命保険会社の企業価値を評価する指標の一つであり、MCEVは金融市場で取引される金融商品の価格と統合的に評価したEVです。中間期末では、3兆6,078億円となりました。

連結業績ハイライト

T&Dホールディングス

- ・主力商品の販売好調や対面・非対面を融合した営業活動の定着等により契約業績は堅調に推移し、新契約年換算保険料および保険料等収入とも前年同期から増加しました。
- ・保有契約年換算保険料は堅調に推移し、1兆5,534億円となりました。第三分野の保有契約年換算保険料は前年度末から増加し2,851億円となりました。

(単位: 億円)

	2021年度中間期*1 2021年4月 1日から 2021年9月30日まで	2022年度中間期 2022年4月 1日から 2022年9月30日まで
契約業績(生命保険会社3社合算)		
新契約年換算保険料	613	781
第三分野の新契約年換算保険料	178	208
保有契約年換算保険料	15,431**2	15,534
第三分野の保有契約年換算保険料	2,775**2	2,851
損益関係		
経常収益	11,078	14,968
保険料等収入	8,933	11,186
資産運用収益	1,726	3,362
その他経常収益	417	419
経常費用	10,408	16,117
保険金等支払金	6,537	10,924
責任準備金等繰入額	1,929	646
資産運用費用	296	918
持分法による投資損失	177	2,006
経常利益(△は損失)	669	△1,149
親会社株主に帰属する中間純利益(△は純損失)	317	△1,483
その他指標		
ソルベンシー・マージン比率	1,026.3%**2	889.5%
Group MCEV	35,085**2	34,552
Group MCEV (フォーティテュード社に係る評価性損益等を除く)	34,483**2	36,078

※1 2021年10月1日に公表したフォーティテュード社の組織再編に伴う会計処理の遡及適用反映後の数値。
 ※2 2021年度末実績を記載。

格付け(2022年9月30日時点)

日本格付研究所(JCR) 長期発行体格付 **AA-**

業績ハイライト/子会社の状況

太陽生命

- ・第三分野の新契約年換算保険料は、対面・非対面を融合させた「ハイブリッド型営業」の推進等により、前年同期から22.4%増加し116億円となりました。
- ・第三分野の保有契約年換算保険料については、上場以来最高だった前年度末からさらに伸展し、1,329億円となりました。
- ・基礎利益は、新型コロナウイルス感染症に関する支払の増加によって、前年同期から減少し163億円となりました。

(単位: 億円)

	2021年度中間期 2021年4月 1日から 2021年9月30日まで	2022年度中間期 2022年4月 1日から 2022年9月30日まで
契約業績		
新契約年換算保険料	172	187
第三分野の新契約年換算保険料	94	116
保有契約年換算保険料	5,800**1	5,782
第三分野の保有契約年換算保険料	1,277**1	1,329
損益関係		
保険料等収入	3,228	3,230
保険金等支払金	2,853	3,834
経常利益	203	264
中間純利益	87	144
その他指標		
基礎利益**2	243	163
順ざや額**2	147	362
ソルベンシー・マージン比率	734.2%**1	601.3%
MCEV	11,345**1	10,695

※1 2021年度末実績を記載。
 ※2 金融庁が定める算出方法の改正後の基準により記載。

格付け(2022年9月30日時点)

格付投資情報センター(R&I) 保険金支払能力 AA-	日本格付研究所(JCR) 保険金支払能力格付 AA-	スタンダード&プアーズ(S&P) 保険財務力格付け A
--	---	--

DJIDO 大同生命

- ・新契約高はコロナ禍におけるお客さまニーズの変化に対応した丁寧なコンサルティングにより、前年同期を上回り、堅調に推移しました。
- ・中間純利益は為替ヘッジコストの上昇および新型コロナウイルスに関する入院給付金の支払増加等により前年同期から減少し、268億円となりました。
- ・MCEVは、主力商品であるオーダーメイド型商品「Lタイプα」の新契約の着実な積み上げ等により前年度末から増加し、2兆3,184億円となりました。

(単位: 億円)

	2021年度中間期 2021年4月 1日から 2021年9月30日まで	2022年度中間期 2022年4月 1日から 2022年9月30日まで
契約業績		
新契約年換算保険料	311	341
第三分野の新契約年換算保険料	80	90
保有契約年換算保険料	7,989**1	8,016
第三分野の保有契約年換算保険料	1,463**1	1,487
新契約高	21,121	21,886
就業不能保障商品・介護保障商品の新契約高	6,635	7,200
保有契約高	467,033**1	467,578
就業不能保障商品・介護保障商品の保有契約高	112,672**1	114,059
損益関係		
保険料等収入	3,931	3,959
保険金等支払金	2,552	2,700
経常利益	648	466
中間純利益	407	268
その他指標		
基礎利益**2	665	446
順ざや額**2	292	178
ソルベンシー・マージン比率	1,203.8%**1	1,094.4%
MCEV	21,481**1	23,184

※1 2021年度末実績を記載。
 ※2 金融庁が定める算出方法の改正後の基準により記載。

格付け(2022年9月30日時点)

格付投資情報センター(R&I) 保険金支払能力 AA-	日本格付研究所(JCR) 保険金支払能力格付 AA-	スタンダード&プアーズ(S&P) 保険財務力格付け A
--	---	--

T&Dフィナンシャル生命

- ・新契約年換算保険料は、内外金利上昇に伴う「生涯プレミアムワールド5」「生涯プレミアムジャパン5」の魅力向上により、販売が好調に推移し、前年同期を大きく上回り、252億円となりました。

(単位: 億円)

	2021年度中間期 2021年4月 1日から 2021年9月30日まで	2022年度中間期 2022年4月 1日から 2022年9月30日まで
契約業績		
新契約年換算保険料	129	252
第三分野の新契約年換算保険料	3	1
保有契約年換算保険料	1,641**1	1,735
第三分野の保有契約年換算保険料	34**1	35
損益関係		
保険料等収入	1,732	3,948
保険金等支払金	1,107	4,363
経常利益(△は損失)	△1	121
中間純利益(△は純損失)	△4	81
その他指標		
基礎利益**2	△31	47
順ざや額**2	△16	△10
ソルベンシー・マージン比率	749.5%**1	495.9%
MCEV	1,113**1	1,179

※1 2021年度末実績を記載。
 ※2 金融庁が定める算出方法の改正後の基準により記載。

格付け(2022年9月30日時点)

格付投資情報センター(R&I) 保険金支払能力 AA-	日本格付研究所(JCR) 保険金支払能力格付 AA-
--	---

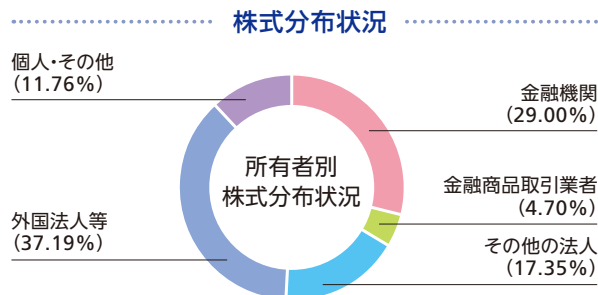
会社概要 (2022年9月30日現在)

名称(商号) 株式会社T&Dホールディングス
所在地 東京都中央区日本橋二丁目7番1号
設立時期 2004年4月1日
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日 定時株主総会において権利を行使できる株主は、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載・記録された株主といたします。
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座 東京都府中市日鋼町1-1
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

株式の状況 (2022年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	1,932,000千株
発行済株式の総数	589,000千株
株主数	212,250名



株式に関する
お手続きの
ご案内



住所変更等、株式に関する各種お手続きにつきましては、右記お申し出先にご連絡いただきますとお手続きが可能です。当社の株式を管理されている口座によってお手続きの窓口が異なります。

管理口座	お申し出先
証券会社の口座	お取引の証券会社
三菱UFJ信託銀行の口座(特別口座)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 • テレホンセンター(フリーダイヤル) TEL 0120-232-711 • 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

株主総会
資料
電子提供制度
のご案内

2022年9月1日より株主総会資料の電子提供制度*が施行されました。

株主総会資料は当社ホームページ等に掲載いたします。

引き続き書面での株主総会資料をご希望の場合は、三菱UFJ信託銀行へお申し出いただき、株主総会の議決権基準日(3月31日)までにお手続きを完了ください。

* 制度の詳細は下記QRコードからご覧ください。



三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電子提供制度専用ダイヤル(フリーダイヤル)



0120-696-505



本紙は、植物油インキを使用しております。